

令和2年7月14日  
消 防 庁

## 令和2年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

令和2年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

**安全功労者表彰受賞者 個人25名、団体11団体**

**消防功労者表彰受賞者 消防団員6名、女性防火クラブ員5名**

(受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。)

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び女性防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

○ 令和2年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式については、現在調整中です。



連絡先  
消防庁総務課  
梅本係長・樋口事務官  
TEL 03(5253)7521 内線 42173  
FAX 03(5253)7531

令和2年度

安全功勞者総務大臣表彰

消防功勞者総務大臣表彰

消防庁

## 1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- 西 根 義 治（北海道・留辺蘂町防火管理者連絡協議会 会長） ----- 1
- 櫻小路 孝 子（岩手県・岩手県婦人消防連絡協議会 副会長）
- 齊 田 哲（埼玉県・杉戸町危険物防火安全協会 会長） ----- 2
- 齋 藤 豊 久（千葉県・夷隅郡市防火安全協会 会長）
- 佐 藤 満 蔵（東京都・大森危険物安全協会 会長） ----- 3
- 望 月 達 夫（東京都・矢口防火管理協会 会長）
- 柳 川 幸 一（東京都・千住防火防災協会 会長） ----- 4
- 石 原 美知子（岐阜県・大垣市女性防火クラブ連絡協議会 前会長）
- 廣 瀬 巧（岐阜県・揖斐郡危険物安全協会 会長） ----- 5
- 加 藤 八 郎（滋賀県・湖南防火保安協会 副会長）
- 富 部 純 子（京都府・伏見自衛消防協議会 副会長） ----- 6
- 鴨 田 光 司（大阪府・高石防災協会 会長）
- 種 田 賢 一（大阪府・柏羽藤火災予防協会 副会長） ----- 7
- 西 口 定 雄（大阪府・豊中防火安全協会 副会長）
- 平 松 敏 之（大阪府・摂津市防火安全協会 会計） ----- 8
- 水 守 俊 明（大阪府・東大阪市東防火協力会 副会長）
- 森 下 世志典（大阪府・西淀川公衆集合場防火協議会 会長） ----- 9
- 坂 井 幸 嗣（兵庫県・三木防火協会 前会長）
- 住 野 敦 浩（兵庫県・猪名川町防火協会 会長） ----- 10
- 松 平 幸 子（和歌山県・和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長）
- 石 戸 翼（岡山県・一般社団法人 岡山県消防設備協会 前副会長） 11
- 掛 谷 賢 次（広島県・福山市東防火協会 会長）
- 松 本 義 子（山口県・本村本町婦人防火クラブ 会長） ----- 12
- 三 宅 史 員（福岡県・粕屋南部地域防災協会 副会長）
- 佐々木 洋 子（大分県・大分県女性防火・防災クラブ連合会 副会長） - 13

## 2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- こうえきしゃだんほうじんさがみほらしぼうさいきょうかい  
公益社団法人相模原市防災協会（神奈川県） ----- 14
- かいづしじょせいぼうかくらぶ  
海津市女性防火クラブ（岐阜県）
- ふじもりこうぎょうかぶしがいしや かけがわじぎょうしよ  
藤森工業株式会社 掛川事業所（静岡県） ----- 15
- いずみさのしかさいよぼうきょうかい  
泉佐野市火災予防協会（大阪府）
- かぶしがいしや ちょうこくぶらすと  
株式会社 彫刻プラスト（大阪府） ----- 16
- いぶきだいぼうさいふくしこみゆにてい  
井吹台防災福祉コミュニティ（兵庫県）
- じょうようこうくしやうだし ぶふじんぼうかくらぶ  
城陽校区庄田支部婦人防火クラブ（兵庫県） ----- 17
- わきこどもえんようねんしょうぼうくらぶ  
和木こども園幼年消防クラブ（山口県）
- めのとふじんぼうかくらぶ  
女の都婦人防火クラブ（長崎県） ----- 18
- いりょうほうじんかなざわかい せいじのりはびりてーしょんびやういん  
医療法人金澤会 青磁野リハビリテーション病院（熊本県）
- くまもととうきゅうれいほてる  
熊本東急REIホテル（熊本県） ----- 19

## 3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- おおぶちのりあき  
大 渚 則 昭（青森県・つがる市消防団 団長） ----- 20
- くまがいとしかず  
熊 谷 利 一（青森県・弘前市消防団 団長）
- みずのとしお  
水 野 歳 男（愛知県・尾張旭市消防団 団長） ----- 21
- みずこしゆきお  
水 越 幸 夫（三重県・川越町消防団 団長）
- ながいしゅういち  
永 井 秀 一（岡山県・美作市消防団 団長） ----- 22
- ふくいきよのぶ  
福 井 清 信（鹿児島県・西之表市消防団 団長）

#### 4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（女性防火クラブ員）

- 佐々木 文子  
（宮城県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長） ----- 23
- 椎 名 起世子  
（栃木県婦人防火クラブ連合会 副会長）
- 伊 藤 俊 子  
（奈良県女性防火・防災クラブ連絡協議会 会長） ----- 24
- 岡 リツ子  
（福岡県女性防火クラブ連絡協議会 副会長）
- 蔵 菌 多鶴子  
（鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 25

## 安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

### 個人の部

○西<sup>にし</sup>根<sup>ね</sup>義<sup>よし</sup>治<sup>はる</sup>

留辺蘂町防火管理者連絡協議会 会長

現住所 北海道北見市

氏は、平成5年4月留辺蘂町防火管理者連絡協議会発足以来、会長として永年に亘り防火・防災思想の推進を図り、会の発展育成や会員事業所の防火管理の向上に尽力された。また、火災予防のみならず、あらゆる防火・防災啓発の向上に多大なる貢献をされ、当会員はもとより消防関係団体から大きな信頼を得ている。

さらに、平成11年から平成18年は町議会議員を務め、また地域の防犯活動に対してもその貢献が認められ表彰されるなど、地域住民の信頼が非常に厚く地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○櫻<sup>さくら</sup>小路<sup>こうじ</sup>孝<sup>たか</sup>子<sup>こ</sup>

岩手県婦人消防連絡協議会 副会長

現住所 岩手県岩手郡

昭和50年、雫石町婦人消防協力隊発足と同時に入隊、平成元年、同協力隊隊長に就任し、各事業の推進を図るとともに、毎月の広報活動、全国火災予防運動や年末年始の特別警戒活動では自ら防火を呼び掛けるなど、豊富な識見と行動力・指導力により会の育成発展を通して、地域住民の防火・防災思想の普及・啓発に尽力した。

平成26年に岩手県婦人消防連絡協議会副会長の要職に就き、災害時における技術習得のための救急救命講習会の推進及び住宅用火災警報器の設置促進及び共同購入活動を構築するなど、防火・防災思想の普及・啓発と地域の安心・安全な街づくりの推進に多大な貢献をしている。

○<sup>さい</sup>齊 <sup>た</sup>田 <sup>あきら</sup>哲

杉戸町危険物防火安全協会 会長

現住所 埼玉県北葛飾郡

平成16年8月、杉戸町危険物防火安全協会副会長に、平成24年5月から会長に就任し、現在に至るまで、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

また、消防署及び消防団とも連携し、火災予防PR活動にも率先して参加するなど、会員相互の融和親睦と危険物の取扱い及び消防用設備等の維持管理の向上に取り組んでいる。

さらに、小学生を対象に防火ポスター展を開催し、子供たちの火災予防思想の高揚や健全育成を図り、一方で地元企業と合同で防災訓練を実施するなど、地域住民に対して火災予防活動及び公共の福祉の増進に尽力し、安心・安全の街づくりに多大な貢献をしている。

○<sup>さい</sup>齊 <sup>とう</sup>藤 <sup>とよ</sup>豊 <sup>ひさ</sup>久

夷隅郡市防火安全協会 会長

現住所 千葉県勝浦市

平成2年4月夷隅郡市危険物安全協会設立と同時に理事に就任し、平成14年4月夷隅郡市防火安全協会への改称及び組織改編を経て、平成20年5月に副会長、平成27年5月に会長に就任した。約30年の長きにわたり協会の発展に尽力するとともに、各事業所における防火・防災思想の普及・啓発及び防火管理体制の強化を推進すべく事業内容を充実させた。

また、消防本部と密接な連携のもとに住宅防火対策を推進し、地域の防火・安全の普及に大きく寄与している。

さらに、令和元年5月からは、一般社団法人千葉県危険物安全協会連合会副会長の要職に就き、千葉県内の危険物取扱事業所等への安全管理の徹底と意識の高揚に多大な貢献をしている。

○<sup>さ</sup>佐<sup>とう</sup>藤<sup>みち</sup>満<sup>ぞう</sup>藏

大森危険物安全協会 会長

現住所 神奈川県川崎市

昭和47年10月、大森危険物安全協会に入会以来、常任理事、副会長を歴任、平成12年5月には会長に就任し、この間、多年にわたり防火・防災思想の普及に努め、豊富な見識と卓越した指導力、積極的な行動力により会の育成発展に尽力している。

特に、大森消防署と連携して開催する防火・防災講演会や自衛消防審査会等の各種行事において、消防署管内の区民と事業者に対して積極的に働きかけて、地域防災行動力の向上を図っている。

また、消防関係団体や地元商店街の要職に就き、地域全体の安心・安全に多大な貢献をしている。

○<sup>もち</sup>望<sup>づき</sup>月<sup>たつ</sup>達<sup>お</sup>夫

矢口防火管理協会 会長

現住所 東京都大田区

昭和48年5月、矢口防火管理協会に入会以来、理事、副会長を歴任、平成19年5月には会長に就任し、この間、事業所の自然災害対策や自衛消防力の向上など防火管理体制の強化を図るとともに、防火・防災思想の普及に努め、豊富な識見と卓越した指導力、行動力により会の育成発展に尽力している。また、平成12年から矢口消防少年団団長、令和元年6月からは東京消防少年団連盟副会長に就任し青少年の育成にも寄与している。

矢口防火管理協会会長として事業所の防火、震災対策を推進するとともに、事業所と地域住民との連携協力体制を構築し、防火・防災意識の醸成により地域防災力の向上を図り、地域の安心・安全に多大な貢献をしている。



やな がわ こう いち  
○柳 川 幸 一

千住防火防災協会 会長

現住所 東京都足立区

昭和60年の入会以来、長きにわたり要職を歴任し、平成22年5月に会長に就任してからは豊富な見識と卓越した指導力により、防火・防災思想の普及活動をけん引し、町会・自治会・事業所の融和協調を図りながら相互の連携体制の充実・強化に尽力している。

消防行政への深い理解のもと、消防署が実施する各種行事にも積極的に協力し、防火・防災意識の高揚に献身的に取り組み、率先垂範の姿勢は会員のみならず地域住民からも厚い信頼が寄せられている。

各種消防関係団体の要職も兼任し、各会の育成発展への取組を通じ、地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

いし はら みちこ  
○石 原 美知子

大垣市女性防火クラブ連絡協議会 前会長

現住所 岐阜県大垣市

石原氏は、平成18年4月に大垣市女性防火クラブ連絡協議会副会長に就任。その後、平成21年4月に会長に就任して以来、11年間にわたり豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

また、大垣市が実施する防災訓練、消防団行事等の開催についての協力や毎年、各都道府県の防災センター等にて研修を行い、災害に対する知識の向上、防災意識の普及・啓発に尽力すると共に、大規模地震に対する危機管理の重要性を高め、災害用トイレの普及に積極的に活動し、大垣市のみならず近隣他市でも講習会を行うなど地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

ひろ せ たくみ  
○廣 瀬 巧

揖斐郡危険物安全協会 会長

現住所 岐阜県揖斐郡

平成10年揖斐郡危険物安全協会理事に就任し、危険物の保安管理に努め、長期にわたる功績と責任感・行動力等が高く評価され、平成20年には会長に就任し、豊富な見識と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。具体的な内容としては、会長就任から現在に至るまで、揖斐郡危険物安全協会を代表し、6月の危険物安全週間を中心として、自ら先頭に立ち、危険物関係事業所等に事故防止対策の推進、防火意識の高揚を呼びかけている。また、地域で実施される防災訓練及び少年消防クラブ研修会等に積極的に協力し、防火・防災意識の普及に尽力するなど地域の安全に多大な貢献をしている。

か とう はち ろう  
○加 藤 八 郎

湖南防火保安協会 副会長

現住所 滋賀県草津市

昭和47年7月10日に草津市防火保安協会理事、平成18年5月11日に湖南防火保安協会南・西支部副支部長、平成23年5月16日に湖南防火保安協会南支部長、そして平成23年5月17日に湖南防火保安協会副会長に就任され、豊富な識見と卓越した指導力により、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力された。特に、大規模災害発生時における湖南消防本部と事業所の連携体制を確立させるため平成18年に締結された「災害時の消防活動等支援に関する協定」に著しく尽力され、消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○<sup>とみ</sup>富<sup>べ</sup>部<sup>じゅん</sup>純<sup>こ</sup>子

伏見自衛消防協議会 副会長

現住所 京都府京都市

氏は、平成16年4月、伏見自衛消防協議会副会長に就任して以来現在に至るまで、市内最大の事業所数である同協議会を会長とともに統括し、豊富な識見と卓越した指導力、積極的な行動力で活発な協議会運営に当たるとともに、会員事業所相互間の連携に努め、各協議会事業の際には、会の育成発展に尽力されている。

また、同年同月に、京都市危険物安全協会伏見支部評議員及び伏見防火協会監事会にも就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就くとともに、防火思想の普及・啓発に尽力され、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○<sup>かも</sup>鴨<sup>だ</sup>田<sup>こう</sup>光<sup>じ</sup>司

高石防災協会 会長

現住所 大阪府高石市

平成4年高石防火管理研究会（現高石防災協会）理事に就任し、平成6年に会計監事、平成9年に副会長、平成11年に会長に就任する。平成18年4月に高石防災協会と統合し、氏は高石防災協会の副会長に就任、平成30年には会長に就任し、多年にわたり地域の安心・安全の普及のため、豊富な識見と卓越した指導力を遺憾なく発揮し、全国火災予防運動、放火防止活動、防火講演などの行事で積極的に地域住民に呼び掛け、防火・防災意識の高揚に貢献している。

中でも、放火防止活動については、地元事業所や地域住民へ積極的な協力を呼びかけた結果、会長就任して以来、2年以上にわたり高石市内における放火件数は0件であり、市全域の安心・安全な街づくりに大いに貢献している。

たね だ けん いち  
○種 田 賢 一

柏羽藤火災予防協会 副会長  
現住所 大阪府藤井寺市

氏は、平成19年より柏羽藤火災予防協会自衛消防隊部会の会長に就任し、豊富な識見とその卓越した指導力並びに消防行政に対する深い理解から火災予防の普及・啓発活動を主として部会の育成発展に尽くした。

平成28年には、氏の持つ温厚篤実な人格と指導力から他の役員をはじめ絶大な信望を得て柏羽藤火災予防協会の副会長に就任し、同協会の事業執行の牽引役として、防火思想の普及・啓発に尽力し、藤井寺市はもとより、柏原市、羽曳野市の防災指導者として精力的に活動を展開し、地域全体の安心・安全の推進に多大な貢献をしている。

にし ぐち さだ お  
○西 口 定 雄

豊中防火安全協会 副会長  
現住所 大阪府豊中市

氏は、平成17年10月、豊中防火安全協会（以下「協会」という。）理事に就任し、以来、その職務に強い信念を持ち、協会の事業推進と発展に尽力され、令和2年4月1日現在239事業所が加入するに至っている。

また、氏が代表取締役を務める株式会社西口興産においても、従業員に対する職場の安全管理に関する研修会を機会あるごとに開催するほか、多様な災害が発生した場合を想定した消火、通報、避難誘導の実践的な訓練を実施するなど、事業所の保安体制の強化を積極的に推進している。

平成21年6月からは協会副会長の要職に就き協会事業の発展や、事業所の災害対策の更なる強化に尽力するなど地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

ひら まつ とし ゆき  
○平 松 敏 之

摂津市防火安全協会 会計

現住所 大阪府豊中市

平成13年5月に摂津市防火安全協会理事に就任、平成14年には会計に就任し、長期間、適切な予算運用を行っている。人口8万6千人の小規模市の協会ながら、年間予算約600万円という会計規模の協会経理を統括管理しており、毎年各事業展開にかかる費用運営はもとより、10年単位で開催する周年事業基金を着実に積み上げていく等、持続可能な協会事業運営に大きく貢献している。

協会が実施する各種事業についても、主催責任者の一人として参加し、市内加盟事業所からスタッフとして派遣された当協会役員を統括し事業実施する等、協会加盟の約260事業所の中心となって「安心・安全のまちづくり」に寄与しており、本市の火災減少に多大な貢献をしている。

みず もり とし あき  
○水 守 俊 明

東大阪市東防火協力会 副会長

現住所 大阪府東大阪市

平成7年5月に東大阪市東防火協力会の理事に就任後、常任理事を歴任し、平成17年5月には副会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

併せて、平成4年4月から東大阪市山林防火協力会の監事にも就任し、両会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発や、東大阪市の防火・防災の指導者として活躍するとともに、生駒山系における林野火災への予防にも尽力している。更には市民の信頼も厚い興法寺の住職として、地域防火に努めており、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

もり した よしのり  
○森 下 世志典

西淀川公衆集合場防火協議会 会長

現住所 大阪府大阪市

平成18年6月に西淀川公衆集合場防火協議会会長に就任され、以来、会の育成発展に尽力されております。

また、平成10年9月には大阪市防火管理協会西淀川支部の支部長にも就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、消防法施行令改正に伴うチラシの作成、防災施設見学研修の実施、各種行事への率先した協力など、会の育成発展を通して、西淀川区はもとより大阪市の消防・防災の指導者として、その豊富な識見と卓越した指導力により、防火思想の普及・啓発に尽力し、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

さか い こう じ  
○坂 井 幸 嗣

三木防火協会 前会長

現住所 兵庫県神戸市

平成21年、三木防火協会会長に就任し、市の防災訓練と合わせて開催される防災フェスティバルでは、自ら先頭に立って防火・防災を呼び掛けるなど、市内関係事業所及び市民の防火・防災意識の普及・啓発に積極的であり、県及び消防行政当局並びに県・市危険物安全協会と深く関わりあいながら、各種防災行事にも積極的に参加（また、同年からは、公益財団法人兵庫県危険物安全協会の監事職に就き）、近隣事業所間の相互応援体制の整備にも尽力するなど、災害防止と地域社会の安心・安全の確保に多大な貢献をしている。

○<sup>すみ</sup>住 <sup>の</sup>野 <sup>あつ</sup>敦 <sup>ひろ</sup>浩

猪名川町防火協会 会長  
現住所 兵庫県川辺郡

平成7年4月より猪名川町防火協会理事の職に就き、平成17年4月には同協会の副会長に就任、平成21年4月から同協会の会長に就任し、現在に至る。

春、秋の全国火災予防運動の際には、自ら率先して会員事業所及び地域住民に呼びかけるなどして町民の防災意識の高揚に努めている。

住宅火災による死者は、寝具、衣類、カーテン等に着火して火災が拡大したことによるものが多く発生していることから、各会員事業所に対し防災製品を取り入れ、身の周りの防災化を図るなど防災に対する取り組みを積極的に推進している。

地域の防火思想の普及活動に尽力されていることはもちろん、火災予防推進に尽力する姿は模範となっており安心・安全なまちづくりに大いに貢献している。

○<sup>まつ</sup>松 <sup>ひら</sup>平 <sup>さち</sup>幸 <sup>こ</sup>子

和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長  
現住所 和歌山県西牟婁郡

昭和56年1月、平松婦人消防隊に入隊して以来、地域の防災活動に積極的に取り組んできた。平成5年には、同会隊長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

さらに平成23年6月には、和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会副会長にも就任され、防火の普及・啓発に尽力している。副会長就任後も県協会の各種活動を通して習得した防災・減災対策のノウハウを積極的に指南するなど、すさみ町はもとより、和歌山県の消防・防災の指導者として活動し、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

いし と よく  
○石 戸 翼

一般社団法人 岡山県消防設備協会 前副会長  
現住所 岡山県岡山市

昭和43年12月以来、建築物における消防用設備等（水・泡設備）の設置工事・調整・維持管理の事業に精励する傍ら、平成4年4月以来、一般社団法人岡山県消防設備協会においてその創設に多大なる協力をなした。平成13年6月、同協会副会長（代表理事）の任にあたり、組織強化と運営安定を図り、その豊富な識見と卓越した統率力により、会員事業所の育成・技術の向上に尽力し、同設備協会の発展に尽くした。

さらに、平成17年6月には協同組合岡山県管事業協会理事に就任するなど、消防関係団体の役職を通じて、防火対象物における防火安全を推進、また地域の防火・防災安全の推進、住民の防火意識の向上啓発にも尽力し、消防機関や地域住民の信頼を集め、地域の防火安全に多大な貢献をしている。

かけ や けん じ  
○掛 谷 賢 次

福山市東防火協会 会長  
現住所 広島県福山市

平成15年から福山市東防火協会の役員として活躍、平成27年には会長に就任し、地域住民に防火・防災思想の重要性を認識させ、同協会の発展に尽力している。責任感が強く、地域住民の信頼は厚く、市民が安心して生活できるまちづくりを推進するため、防火座談会、消火訓練及び防災研修等を開催し、率先して消火器や住宅用火災警報器の設置促進を呼び掛けるなど、会の育成発展に寄与している。

また、平成27年からは、福山市防火協会連合会副会長の要職にも就任し、同連合会の運営や事業を積極的に推進し、広く安心・安全なまちづくりと防火・防災意識の向上に多大な貢献をしている。



まつ もと よし こ  
○松 本 義 子

本村本町婦人防火クラブ 会長

現住所 山口県下関市

平成12年4月に本村本町婦人防火クラブ会長に就任し、豊富な見識と卓越した指導力により、所属クラブの発展に尽力するとともに、各家庭からの出火防止を推進するため先頭に立って地域住民に呼びかけ、地区の防災訓練では、初期消火訓練や炊き出し訓練を通じ共助の必要性を参加者に浸透させるなど、地域の防火・防災意識の高揚に大きく貢献している。

また、同時期に市内の婦人防火クラブで結成する下関市婦人防火クラブ連合会の副会長に就任し、クラブの指導者育成やクラブ員のスキルアップに手腕を発揮し、会の発展に尽力している。

み やけ ふみ かず  
○三 宅 史 員

粕屋南部地域防災協会 副会長

現住所 福岡県福岡市

平成19年4月、粕屋南部地域防災協会の理事に就任し、平成27年4月から同協会副会長に就任し以来豊富な識見と卓越した指導力により事業を推進している。操法大会や救命講習の案内・募集、各種講習会の開催など、各事業所の防災体制の強化推進及び地域の災害防止を目指した協会の活動は多岐にわたり、これらに積極的に取り組み、協会の育成発展に努めている。

また、消防署が実施する危険物安全週間や春季・秋季火災予防運動などの事業開催時には、自ら率先して協力し、地域住民の防火・防災意識の高揚に努めるなど、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○<sup>さ</sup>佐<sup>さ</sup>々<sup>き</sup>木<sup>よう</sup> 洋<sup>こ</sup> 子

大分県女性防火・防災クラブ連合会 副会長  
現住所 大分県白杵市

平成3年4月泊ヶ内婦人消防隊に入隊、平成4年4月泊ヶ内婦人防火クラブを結成・入会、地域住民の防火・防災意識の向上を目指し、広報活動等を中心に多岐にわたる啓発活動を行う。平成9年には同クラブ会長に就任、平成20年6月には大分県婦人防火クラブ連合会（現：大分県女性防火・防災クラブ連合会副会長）に就任し、地域防災力の強化に貢献している。

大分県女性防火・防災クラブ連合会副会長就任後は、各種研修会、防災訓練等に積極的に参加し、更なる知識向上、技術習得に努めるとともに、防火・防災活動は関係団体と連携、協力が重要であることを認識、各団体との調整役として活躍しており、地域防災力の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

## 団体の部

こうえきしゃだんほうじん さがみはらしぼうさいきょうかい  
○公益社団法人 相模原市防災協会

(理事長 大谷 新一郎)

所在地 神奈川県相模原市

平成9年4月の設立以来、消防・防災に関する普及・啓発や防災関係者の指導育成等、各事業を通じて協会の目的とする公共福祉の向上に貢献するとともに、時代の進展に合わせた新規事業の展開と組織の拡充・強化を図っている。

市民への火災予防思想の普及、防火対象物関係者への啓発、防火・防災に関する講習の開催、市民及び事業所に対する育成指導等、災害に強いまちづくりを推進する事業を実施し、行政のみでは対応しきれない市民及び事業所の防災ニーズに柔軟に対応した非営利活動を展開、事業を通じて防火対象物及び一般住宅の防火安全の徹底と地域住民に対する防火・防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

かいづしじょせいぼうかくらぶ  
○海津市女性防火クラブ

(会長 中村 みどり)

所在地 岐阜県海津市

平成17年3月に発足以来、防火思想の向上を図るため、住民一人ひとりが防火・防災に関する知識を取得するとともに、「わが家わが街から火事を出さない」という合言葉のもと各家庭においても火災予防に努め、火災のない安全で住みよいまちづくりに寄与することを目的に結成されました。初期消火活動の重要性を認識し、消火器の普及に尽力するとともに、消火器の取扱訓練を実施して、女性の初期消火技術の向上を図るほか、住宅用火災警報器設置促進のためキャンペーンを実施するなど、防火思想の高揚と同市の火災の減少に多大な貢献をしている。

ふじもりこうぎょうかぶしきがいしゃ かけがわじぎょうしょ  
○藤森工業株式会社 掛川事業所

(事業所長 藤野 勝之)

所在地 静岡県掛川市

昭和45年に生産を開始して以来、危険物施設及び他法令に基づく施設を有する事業所として、保安管理及び防火安全の企業責任を十分認識し、関係法令に適合し、保安教育・技術・管理に優れ、無事故を継続するとともに、当市の諸事業に積極的に参加している。

また、防火思想の普及活動並びに保安技術の向上を目的とした講習を実施し、防火意識の高揚に努めている。

さらに、消防団活動への協力や静岡県における第4次被害想定の中津波浸水域に立地する事より、市民に対し津波避難場所を提供するなど、防火思想の普及や保安技術の向上及び消防団活動への協力等、地域の防火・防災に多大な貢献をしており、その功績は他の模範である。

いずみさのしかさいよぼうきょうかい  
○泉佐野市火災予防協会

(会長 久間 崇弘)

所在地 大阪府泉佐野市

昭和24年7月に発足以来、危険物に関する知識の向上及び災害防止を目的に、泉佐野市危険物品保安協会を設立し、昭和51年9月には危険物施設を保有しない一般の事業所も加えた現在の泉佐野市火災予防協会に名称変更及び組織を改編し、無火災を目的として火災予防思想の普及・啓発等の活動を広げ、令和元年で設立70年を迎えている。

同協会の主な事業として、初期消火技術の向上を目的にした「屋内消火栓操法競技大会」の実施や、関係法令の指導、化学知識の向上、危険物施設保有事業所の防災意識の高揚を目的とした「危険物安全推進大会」を開催し、事業所や地域住民の火災予防思想及び災害防止思想の普及に多大な貢献をしている。

かぶしきがいしゃ ちょうこくぶらすと  
○株式会社 彫刻プラスト

(代表取締役社長 高橋 盛)

所在地 大阪府寝屋川市

当事業所は、昭和31年10月に大阪市都島区で創業し、昭和37年6月に株式会社彫刻グラビアとして設立され、昭和39年9月寝屋川市葛原に大阪工場を新設、以降災害を防止するための関係法令の遵守はもちろんのこと、防火に関する各種研修に欠かさず参加し、従業員に対する防災教育の徹底を図るとともに、火災予防の普及を図るといった協会の目的に賛同し、寝屋川市防火協会に入会。

寝屋川市防火協会の会員となってからはさらに防火・防災への取り組みを推進し、寝屋川市の火災を未然に防止すべく、各種事業を積極的に実施している。

いぶきだいぼうさいふくしこみゆにてい  
○井吹台防災福祉コミュニティ

(会長 坂本 津留代)

所在地 兵庫県神戸市

平成11年10月24日に結成以来、阪神・淡路大震災の教訓を風化させることなく、安全で安心して暮らせる地域づくりを継続的に実施している。地域住民を対象とした防災訓練のほか、「井吹台東・北コミュニティマップ」を作成し、毎年コミュニティマップを活用した避難所開設訓練を実施している。そのほか、情報誌「いぶきの友」を定期的に作成し、新しい情報を地域住民へ発信している。

平成21年12月には民間救急講習団体として認定され、応急手当の普及促進活動を行い、地域住民の安心・安全に多大な貢献をしている。

平成26年に「かまどベンチ」を考案し通常はベンチとして使用し、大規模災害時にはかまどとして活用できる工夫を行っている。

じょうようこうくしやうだし ぶ ふじんぼうかくらぶ  
○城陽校区庄田支部婦人防火クラブ

(会長 中塚 明美)

所在地 兵庫県姫路市

昭和61年8月発足以来、「家庭、地域から火災を出さないこと」をスローガンに掲げ、消火器の取扱い訓練による初期消火技術の習得、救急講習の開催による応急救護知識の向上、防火研修会による火災予防意識の普及・啓発等の活動を積極的に取り組んでいる。

また、消防署主催の視察研修では、火災事例、燃焼実験から身近な火災危険を再認識し、住宅用火災警報器の設置、維持、点検の重要性を深く理解し、地域行事を通じて広報を実施している。

さらに、各種研修会に参加し、火災予防、防災に対する知識の習得に努め、積極的に防火・防災意識の高揚を図っている。

これらの精力的な活動体制が確立された組織の形態は他の模範であり、安心・安全で魅力的な地域社会の構築に大きく寄与している。

わきこどもえんやうねんしやうぼうくらぶ  
○和木こども園幼年消防クラブ

(園長 佐伯 公夫)

所在地 山口県玖珂郡

同クラブは、平成14年10月15日発足以来、防火意識を目覚めさせるとともに、心身ともにたくましく豊かで調和のとれた幼児の育成を目的として、消防署や女性消防団、地元企業と合同の町内防火パレードや防火太鼓の活動を活発に行っている。

平成31年4月1日、幼保連携型認定こども園となり、「和木こども園幼年消防クラブ」と改称、毎月の避難訓練、火災予防作品の応募を毎年実施して、防火・防災教育にも力を入れている。

また、園内外において高齢者との交流会を行うなど、地域住民とのふれあいを通して防火普及・啓発活動を展開、和木町唯一の幼年消防クラブとして、町内における防火思想の高揚と普及・啓発に多大な貢献をしている。

めのとふじんぼうかくらぶ  
○女の都婦人防火クラブ

(会長 道津 恵子)

所在地 長崎県長崎市

昭和57年5月に結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という意識のもとに、当市が実施する消防出初式、婦人防火クラブ幹部研修会及び市民防火のつどい等各種行事に積極的に参加し、会員の防火・防災意識の高揚に努めているほか、地域での防火・防災訓練にも率先して参画するなど、自主防火体制の中心的な存在として活動している。

また、火災予防期間中の防火広報や地域住民による歳末消防警戒に伴う夜警に参加するなど幅広い活動を展開するとともに、住宅用火災警報器の交換促進チラシ等を地域住民に配布し、火災予防を呼びかけるなど、地域の防火・防災意識の高揚に大きく貢献している。

いりょうほうじんかなざわかい せいじのり はびりてーしょんびょういん  
○医療法人金澤会 青磁野リハビリテーション病院

(理事長 金澤 知徳)

所在地 熊本県熊本市

昭和21年8月に開設以来、消防用設備等の適切な維持管理に努めると共に、消防計画に基づく消防訓練を実施し、全職員で火災予防の推進と防火思想の普及徹底を図ってきた病院である。

平成24年からは、消防法令の違反事項がない優良な防火対象物として防火対象物点検の特例認定を継続して受けている。

法人内の他施設とも連携し、昼夜を想定とした防火訓練を年間複数回実施するとともに、地域の自主防災クラブと合同で訓練を行うことにより施設内の構造や有事の際の活動方針等の共有を図り、施設内のみならず地域の防火・防災意識の向上推進に努めている。

くまもととうきゅうれいほてる  
○熊本東急 REIホテル

(株式会社東急レクリエーション 代表取締役社長 菅野 信三)

所在地 熊本県熊本市

1974年10月に熊本東急インとして開業後、2011年熊本県知事より防火管理模範施設として表彰を受け、2015年4月、現在の熊本東急 REI ホテルへ名称変更。2016年4月に発生した熊本地震では宿泊者の避難誘導、安全確保に留まらず、近隣住民への食糧、毛布等の支援物資の提供を行った。その地域貢献度が評価され、同年7月には熊本市防災協会より優良防火管理事業所の表彰を受けた。その後も様々なケースを想定した自衛消防訓練を他事業所立会いのもと定期的を実施し、訓練についての情報共有を行うなど、他の事業所の防火・防災の意識向上にも多大な貢献をしている。



## 消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び女性防火クラブ員

### 消防団員

おお ぶち のり あき  
○大 洵 則 昭

つがる市消防団 団長  
現住所 青森県つがる市

昭和52年の入団依頼、42年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成17年2月の1町4村の合併による「つがる市」誕生と同時に団長に就任。以来、計画的な消防ポンプ車の更新や分団の統廃合により効率化を図る等、その強力なリーダーシップで消防組織の近代化に取り組んで来た。

また、従来にも増して団員の教育訓練にも力を注ぎ、特に常備消防との連携のもと長距離中継送水訓練を積極的に実施し、団員のポンプ操作技術の向上に大きく寄与した。

さらに、平成17年からは、青森県消防協会代議員（現評議員）としても尽力し、その功績は誠に顕著である。

くま がい とし かず  
○熊 谷 利 一

弘前市消防団 団長  
現住所 青森県弘前市

昭和51年に入団以来、43年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

第3方面団長に就任以来、消防団長の補佐役として弘前市消防団全体の運営に携わり、その優れたリーダーシップと決断力で部下団員の信望を集めている。

候補者は、功労章受章後、市内各地で実施される避難訓練や救命活動訓練等に積極的に団員を派遣し、消防技術の錬磨向上を図り、更なる地域防災力向上や団員の育成強化に努めている。

また平成31年から弘前市消防団長として、弘前市の消防力の充実強化に日々精励しており、地域の防災力向上及び消防の育成強化に大いに貢献しているものである。

○水<sup>みず</sup>野<sup>の</sup>歳<sup>とし</sup>男<sup>お</sup>

尾張旭市消防団 団長

現住所 愛知県尾張旭市

昭和45年に入団以来、48年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

消防団長就任以降は、特に団員の育成に力を入れ、消防団の基礎を固めるとともに、平成25年には、尾張旭市少年少女消防団を結成し、将来の地域防災の担い手の育成にも尽力した。

平成29年には、尾張旭市学生消防団員活動認証制度を制定し、学生消防団員の入団促進を図るとともに平成31年には、尾張旭市消防団協力事業所表示制度を制定し、地域防災への協力体制の強化に貢献した。

また、平成24年から平成26年まで愛知県消防協会理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○水<sup>みず</sup>越<sup>こし</sup>幸<sup>ゆき</sup>夫<sup>お</sup>

川越町消防団 団長

現住所 三重県三重郡

昭和49年に入団以来、38年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

消防団長として、火災発生時や台風等風水害の特別警戒においても状況判断に優れ、町として初めての避難勧告を発令した時にも、自らが陣頭指揮をとり、的確な判断と経験を活かし、人的被害をゼロに抑えるなど卓越した指揮能力を発揮した。

また、公設消防隊と各分団との連携訓練を定期的実施するなど、自身の豊富な経験と技術を消防団員に伝承し、その資質向上に尽力している。その成果は、団員の火災現場での適切な対応に表れ、被害を最小限に抑えるなど地域住民はもとより町当局からの信頼も厚い。

なが い しゅう いち  
○永 井 秀 一

美作市消防団 団長

現住所 岡山県美作市

昭和50年に入団以来、45年余の長きにわたり、率先して地域消防、防災活動に専し団員の訓練強化に尽力し、団長就任後は、消防団員の待遇改善、充実を図るなど多大なる貢献をしている。

平成30年7月豪雨の際、冠水した道路の通行止め規制や土嚢積み作業などの指示を的確に行い、二次被害防止に努めた。警察・消防署と連携して避難困難者の救助を行うなど、豪雨の中1人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。

また、平成19年5月から岡山県消防協会の代議員（平成29年4月～現在；会長）として、平成28年6月からは日本消防協会評議員（平成29年6月～令和元年6月；副会長）として尽力し、その功績は誠に顕著である。

ふく い きよ のぶ  
○福 井 清 信

西之表市消防団 団長

現住所 鹿児島県西之表市

昭和46年に入団以来、49年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

氏は、功労章受章後、災害時における被害の軽減を図るため、消防団員・消防職員の経験者からなる消防団支援活動を主としたボランティア組織（消防団エキスパート隊）を設置し、消防団員が不足している分団の管轄地区をはじめとする市内全域の消防力強化に貢献した。

また、平成24年からは、鹿児島県消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

## 女性防火クラブ員

○<sup>さ</sup>佐<sup>さ</sup>々<sup>き</sup>木<sup>ふ</sup>文<sup>み</sup>子<sup>こ</sup>

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長  
現住所 宮城県遠田郡

平成5年、小牛田町青生地区婦人防火クラブ入会時より、会長として率先し同クラブの発展に寄与するとともに、同時期、小牛田町婦人防火クラブ連合会会長に就任。クラブを統率する手腕を発揮され、周囲の高い要望もあり平成11年には大崎地域婦人防火クラブ連合会会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成25年の宮城県婦人防火クラブ連絡協議会副会長就任後は、優良活動の情報収集に励み、地域の防火・防災意識の向上に多大な貢献をしている。

また、日本防火・防災協会会長表彰受賞後も地域社会における防火・防災体制づくりに多大な貢献をしており、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○<sup>しい</sup>椎<sup>な</sup>名<sup>き</sup>起<sup>よ</sup>世子<sup>こ</sup>

栃木県婦人防火クラブ連合会 副会長  
現住所 栃木県小山市

昭和58年、犬塚婦人防火クラブの発足と同時に同会に入会した。平成6年には同クラブ会長、平成21年には小山市女性防火クラブ連合会会長、平成25年には栃木県婦人防火クラブ連合会副会長に就任し、特に、「家庭から火災を出さない」ことの重要性を広く啓発されてきた。椎名氏の活動は地区自治会や小山市だけでなく、栃木県全体の防火意識の高揚と女性防火の発展に大きく寄与されている。

椎名氏の指導力及び統率力は他に類を見ないほど優れ、防火・防災に注がれる積極的な活動、情熱は、強く住民の信頼を得ており、地域の安心・安全に多大な貢献をしている。

○伊<sup>い</sup>藤<sup>とう</sup>俊<sup>とし</sup>子<sup>こ</sup>

奈良県女性防火・防災クラブ連絡協議会 会長

現住所 奈良県奈良市

平成10年、奈良市明治地区女性防災クラブ発足時から、同クラブ会長に就任し、率先して地域での防火活動に積極的に参加し、平成23年には奈良市女性防災クラブ連合会会長に、平成30年には奈良県女性防火・防災クラブ連絡協議会の会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成30年の奈良県女性防火・防災クラブ連絡協議会会長就任後は、奈良県の全クラブを対象とした住宅用火災警報器の電池交換啓発のための研修会の主催や奈良県総合防災訓練をはじめ各種防災イベントへの積極的な参加など、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○岡<sup>おか</sup>リ<sup>り</sup>ツ<sup>つ</sup>子<sup>こ</sup>

福岡県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 福岡県久留米市

昭和49年に久留米市西国分婦人防火クラブに入隊後、地域の防火活動に積極的に参加し、平成13年から久留米市婦人防火クラブ連合会副会長、平成18年から同連合会会長に就任し、長年にわたり地域の様々な防火・防災の普及・啓発活動に努めている。また、平成26年に、福岡県女性防火クラブ連絡協議会副会長に就任し、様々な研修会や災害訓練等に積極的に参加し、広域での防火意識の向上に努めている。令和元年度には日本防火・防災協会会長表彰を受賞し、地域防災力の牽引者としてこれまでの経験を活かして地域住民の安心・安全な街づくりのために多大な貢献をしている。

くら ぞの たづ こ  
○藏 菌 多鶴子

鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 鹿児島県指宿市

昭和56年、成川区婦人防火協力会（現：成川区女性防火協力会）に入会以来、率先して防火活動に参加し、平成19年には同協力会会長に就任するとともに、指宿地区幼少年婦人防火委員会（現：指宿南九州幼少年女性防火委員会）の設立に尽力し、今日に至るまで会長として活動し、同委員会の発展に寄与している。また、平成22年には福元区婦人防火協会顧問に就任した。

平成30年、鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会会長に就任後も、豊富な経験を活かして様々な研修会等の開催に積極的に取り組み、クラブ員の育成や防火思想の普及・啓発に努めている。また、各県クラブとの情報交換により一層の活動促進を図るなど、地域防災力の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	25	36
	団体	11	
消防功労者表彰	消防団員	6	11
	女性防火クラブ員	5	